

CONTENTS

組合長あいさつ・第12回通常総代会	P1
平成21年の反省及び 平成22年度の取り組み	P2
カーボンオフセット認証 グレーディングマシン導入	P3
未来につながる森林づくり	P4～P5
新人紹介	P6
木材市況	P7
購買案内	P8



久万広域森林組合だより

Kumakouki Forest Owner's Association

面河渓谷

ごあいさつ



代表理事組合長
大野 護

いよいよ本格的な夏の到来を迎え、組合員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より組合運営につきましては、温かいご支援とご理解をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、去る6月2日に第12回通常総代会を開催したところですが、総代の皆様には多数のご出席を賜り、貴重なご意見やご理解をいただき盛大に開催できましたこと、誠にありがとうございます。

さて、世界的な経済の不況の影響を受け、製品流通の鈍化に併せて木材価格の低迷が長引く中で、平成20年度に作成致しました「新たな中期経営計画」に基づき、平成21年度事業の展開を行ってまいりましたが、事業計画の約8割の達成となり、経常利益で61,790千円を計上することができ、4期連続の黒字決

算を迎えることが出来ましたことは、ひとえに組合員の皆さまのご協力の賜と感謝申し上げます。

ついでには、組合員の皆様には、昨年度に引き続き、わずかではございますが出資配当をいたします。

また、組合の安定経営を継続的に維持するため、「新たな中期経営計画」を基に、今年度も経営を遂行して参りますが、計画は今年度が最終年度となることから、「組合員の経済的利益の向上」と「安定した経営と成長」を引き継ぎ、組合員の高齢化や町外者所有森林が増加する状況の中で、久万林業の振興に組合の果たすべき役割は重要であることを再認識し、以前から進めている「久万林業活性化プロジェクト」を組合事業の中心と位置づけ、「中長期計画」を策定することとし、久万林業の再生を目指すこととしております。

森林組合は、「組合員あつての組合」の精神を肝に銘じ、役員一同組合員の皆様との連携強化に取り組み所存でありますので、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。終わりに申し上げますが、組合員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

第12回通常総代会のご報告



総代会のようす

第12回通常総代会は6月2日（水曜日）午前9時30分より、松山市農業協同組合久万支所大ホールにおいて、高野宗城町長様をはじめ多数のご来賓をお迎えし、総代員数192名中164名（内委任状56名）の出席のもと開催されました。

議長には久万地区の真木孝志総代が選任され、第1号議案から第10号議案まで審議されました。

第2号議案においては、前年度同様2%の出資配当のうち1口に達するものにつきましては、増資に振り当てさせていただくことが承認されました。

その他の議案も全て原案通り可決・承認され、松本専務の閉会挨拶をもって無事に終了いたしました。

総代が変わりました

本組合総代選挙規程により、6月18日に行いました選挙の結果、新たな総代200名が全員無事に選任されました。任期は3年間です。

	久万	面河	美川	柳谷
総代数	83人	27人	51人	39人

平成21年度の反省及び平成22年度の取り組み

平成21年度は、全体で計画に対し達成率78%となる61,790千円の経常利益となりました。木材価格は一時に比べて若干回復したものの相変わらず安値が続き、製品荷動きも悪いことから特に加工部門においては厳しい経営環境でした。

平成22年度も厳しい経営状況になる見込みですが、62,023千円の利益確保を目指します。

各部署の反省及び取り組み

21年度反省

22年度取組

指導企画課

購買部門の取扱数量は年々減少しておりますが、組合員の皆さまがお求めになる商品への迅速な対応を心がけ、また、優良造林苗木や林業用資材、椎茸資材の斡旋に努めました。

組合員の皆さまのニーズに応じた商品をご用意して、より多くの方に利用して頂きたいと考えております。また、昨年度に引き続き新商品開発のチャレンジをしていきます。

活性化センター

久万林業活性化プロジェクトを基本として、積極的に組合員様の所有山林の管理を行いました。年間620haの計画でありましたが、実績479haで目標未達成となってしまいました。

調査、営業、管理の専門体制に再編成し、業務の効率化を図ります。間伐の低コスト化、木材の安定供給、組合員様からの委託管理の推進を図り720haの達成を目指します。

森林整備課

国有林請負事業は計画を下回りましたが、所有林及び一般民有林事業は計画を大きく上回り、原木市場については父野川事業所や久万事業所への原木供給に貢献いたしました。

今後も活性化センターとの連携をより密にして事業を進め、組合員の皆さまの所得向上のために、低コスト施業の確立に向けて精一杯努力してまいります。

久万市場

原木単価が低迷して厳しい状況が続きますが、2年連続70,000㎡を超える取扱数量を確保できた大きな要因は、活性化センターの事業量の拡大による搬出量の増加がありました。

今年度は74,000㎡の取扱数量を目指し、大径木に対応できる自動選別機の導入を実施する予定です。集荷を兼ね作業現場へ足を運び造材指導等を積極的に行います。

久万事業所

生産量の増大及び製造コストの削減に取り組み収支は改善できましたが、歩留りが低下したことで製品品目によっては欠品率が増加したことで等級区分が悪くなり平均単価の低下を招きました。

副製品を特定化して生産することで安定した歩留りの確保を目指します。また、乾燥手法の開発に取り組み、製品の割れ等の発生率を抑制することによって最終歩留りの向上を図ります。

父野川事業所

売れにくい製品の木取りを変更したことで歩留りが低下し、集成材は生産量を確保することが困難でした。機械施設は耐用年数が過ぎたものや故障等で稼働率が低下するなど課題が生じました。

歩留りが向上する加工品及び採算が合う集成材の商品開発に取り組みます。機械施設は日々のメンテナンスを充実させ、更新が必要であれば早期に対応することで生産量の確保を目指します。

カーボンオフセット認証 父野川事業所



日本国内の中小企業のCO2排出削減事業支援を目的として、国内クレジット制度(国内排出削減量認証制度)の運用が平成20年10月に開始され、そのCO2排出削減分が「国内クレジット」として売買できるようになりました。

この制度は、中小企業が大企業等から資金や技術・ノウハウ等の提供を受け、共同でCO2排出削減に取り組む仕組みとしてスタートし、そのCO2排出削減分が「国内クレジット」として売買できるため、企業が、CO2削減目標達成の手段として「国内クレジット」を購入するだけでなく、地球温暖化防止に貢献するCSR活動として「国内クレジット」を購入・活用することが注目されています。

父野川事業所では工場内から出てくるバーク・カナ屑・端材等の有効利用のために、化石燃料を使わない木材乾燥用のバイオマスボイラーを新設したことにより、化石燃料ボイラーを導入する際に想定されるCO2排出量を削減する事業計画が認証されました。

この事業は2012年度までの継続事業ですが、2009年度は排出削減事業共同実施者の丸紅株式会社様に648t-CO2の「国内クレジット量」を買っていただくことができ、今後ともCSR活動に活用していただきたいと思っています。

グレーディングマシン導入 久万事業所

最近では、梁・桁等への杉材の使用が増えてくるなど、国産材の利用促進志向が強まっていますが、設計等においては品質・制度についての明確な数値が必要となってきています。

久万事業所では杉・桧の柱材や杉の梁・桁材を主力に生産していますが、グレーディングマシンを導入することにより「人工乾燥処理製材」及び「機械等級区分製材」のJAS認定を取得することで、乾燥度及び製品の強度等の品質・精度を明確化して、消費者の安全・安心志向を捕えた信頼性のある製品づくりを進め、地域ブランド化を図り市場競争に負けない加工・販売を行っていきたくと思っています。



平成22年10月16~17日 第40回林業まつり開催!! 四国山の日inえひめ2010同時開催!

写真は昨年度の様子です。皆さま是非遊びにいらしてください。



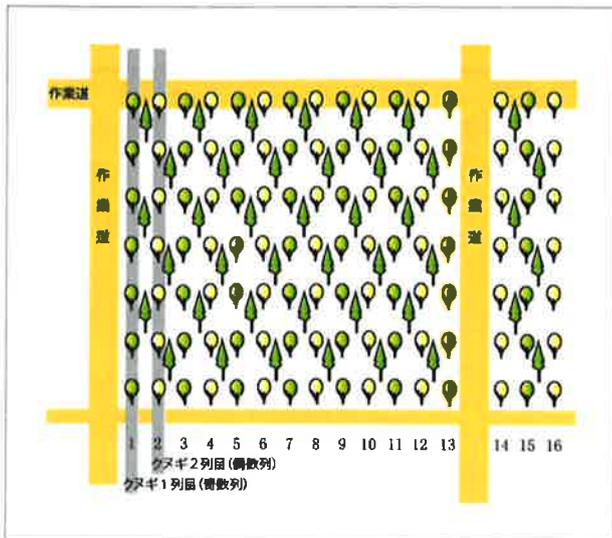
乾しいたけなどの購買商品



おまつり広場での子供木工



銘木を含む木材展示・販売



平成18年度から様々な森のかたちを
考え、チャレンジしております。今回
は、平成21年度の新生産システム支
援事業の革新的施業取組事業で採
択されました「針・広葉樹混交林の
再造林モデル」をご紹介します。

《植栽本数》
スギ: 1,000本/ha
クヌギ: 2,000本/ha



森林整備課

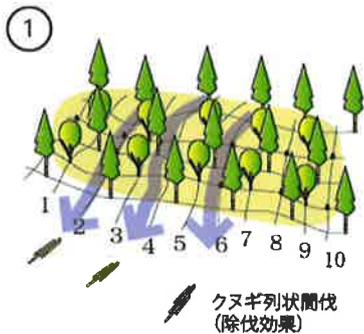
未来につながる森林づくり

◎平成二十一年度革新的施業取組事業のご紹介◎

スギとクヌギを交互に植林した
後、15年後にクヌギの列状
間伐を行います。列はクヌギ
の偶数列が対象です。
伐採したクヌギは販売し、造
林費用の補てんを行います。

さらに5年後に、残りのクヌ
ギ(奇数列)の列状間伐を行
います。この時、前回伐採し
た偶数列のクヌギの切り株か
ら萌芽が起こり、新たな下層
植生が芽生えてきています。

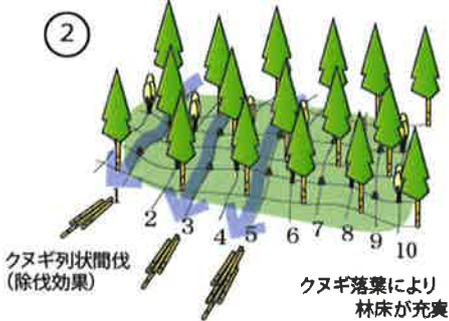
35年後になるとスギも立派に
成長していますが、成長や形質
の悪い不良木を対象にヘクター
あたり20%程度の間伐を行
います。同時に20年生になった
クヌギも列状間伐します。



①《15年後》
クヌギ1列択伐
(1,000本/ha:30%伐)
→15年生クヌギ伐木販売

スギ枯損等5%減
(植栽本数比)

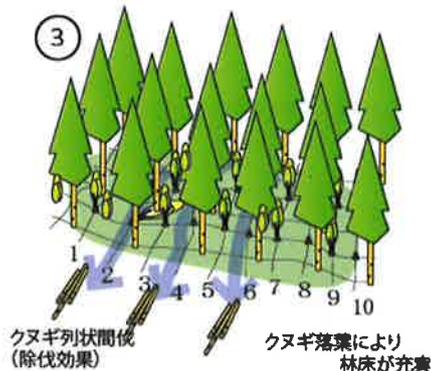
スギ: 950本/ha
クヌギ: 2,000本/ha



②《20年後》
クヌギ1列択伐
(1,000本/ha:34%伐)
(1,000本/2,950本)
→20年生クヌギ伐木販売

スギ枯損等5%減
(植栽本数比)

スギ: 900本/ha
クヌギ: 2,000本/ha



③《35年後》
クヌギ1列択伐
スギ不良木間伐20%間伐
(植栽本数比)
→1,200本/ha:41%伐
(1,200本/2,900本)
(スギ:200本,クヌギ:1,000本)

→20年生クヌギ伐木販売
(15年目の萌芽更新木)
スギ: 700本/ha
クヌギ: 2,000本/ha

●問い合わせ先●

森林整備課

tel:0892-50-0002

fax:0892-21-0900

久万林業活性化センター



【施業後の現場写真】
間伐が終わり、林内が明るくなって
下層植生が成長を始めています。



【施業前の現場写真】
立木密度が高く、樹幹が閉鎖して
しまったために林内は暗くなり、
不健康な山林になっていました。

22年度目標

720ヘクタール

集約化施業を推進する活性化

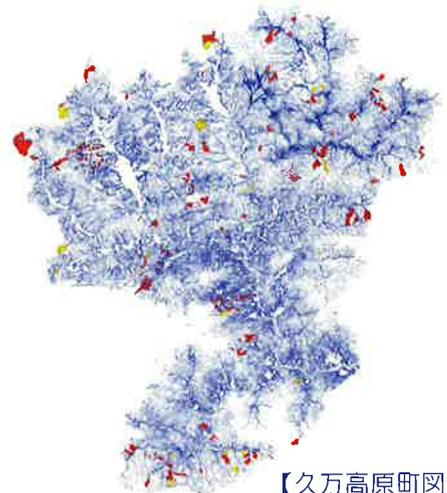
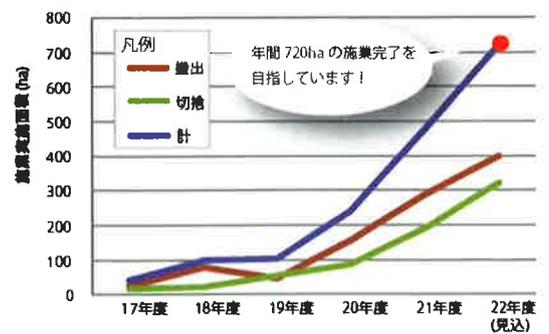
プロジェクトも6年目を迎え、
着実に森林整備面積を拡大して
おります。

平成22年度は、年間施業完了面
積720ヘクタールを目指して取
り組んでおります。ご協力をいた
だいている皆様には心より感
謝の気持ちを申し上げます。こ
れから参加される皆様には誠意
持つて努力させていただきます。

平成22年度発注実績

地区	発注内容	4月	5月	6月(見込)	計
久万	工区数	2	2	2	6
	面積	38.28	61.60	27.00	126.88
国河	工区数	0	0	1	1
	面積	0.00	0.00	16.00	16.00
美川	工区数	1	0	1	2
	面積	13.16	0.00	31.00	44.16
柳谷	工区数	0	2	3	5
	面積	0.00	37.58	27.00	64.58
合計	工区数	3	4	7	14
	面積	51.44	99.18	101.00	251.62

活性化プロジェクト集約化施業地完了実績



【久万高原町図】

右図は、これまでに行った集約化施業
の位置図です。

赤い箇所が「施業済み山林」、黄色い
箇所が「施業中の山林」を示しており
ます。

まだまだ空白部分が多いのですが、少
しでも多くの面積を整備できるよう
努力しております。

集団施業に参加をご希望の方は、久
万林業活性化センターまでご連絡く
ださい。

● 問い合わせ先 ●

久万林業活性化センター

tel : 0892-50-0075

fax : 0892-21-0081

総務部 指導企画課

山で生まれ、山で育ち、そして山で働けることをうれしく思っています。まだわからないことばかりでしどろもどろになっていますが、一刻も早く仕事に慣れるようがんばりたいと思っています。明るい笑顔を振り撒き組合を盛り上げていきたいです。

森林部 森林整備課

当組合は、団地形成から製材加工まで幅広い事業を手掛けながらその課題に取り組み、今後も愛媛の林業をリードしていく組織であると考え、就職を決意しました。仕事を覚えることはもちろん、組合員様にも自分を覚えて頂けるよう全力を尽くします。

新

森林部 森林整備課

久万高原町の山々や組合の工場の広さに目を奪われ、ここで働けることを嬉しく思っています。木のことや、仕事の内容など全く分からず皆の足を引っ張っていますが、親切に教えて下さるので助かっています。毎日少しずつでも成長できるよう努めます。

森林部 森林整備課

家の建築現場や完成見学会を見に行くのが好きで、そのうち木に興味が変わき、林業のこの町をもっと知りたいと思うようになりました。そんな時、森林組合の募集があり、ちょっと運命を感じながら働かせてもらっています。お役に立てるよう頑張ります。

人

事業部 父野川事業所

職場の先輩方はとても優しく、毎日楽しく仕事に励んでいます。まだまだ分からないことがたくさんあってご迷惑をかけていますが、優しいご指導のおかげで仕事にもなれてきました。これからも頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事業部 父野川事業所

社会人になった以上、常に冷静さと客観性をもって、自分に与えられた仕事に責任を持てる人間になりたいと思います。ひとつひとつの仕事に全力を注ぎ、毎日の積み重ねを大事にして、立派な社会人として貢献できるように頑張りたいです。

紹

事業部 父野川事業所

まだまだ分からない事ばかりなので、毎日覚えることが多く大変ですが、一生懸命頑張っています。先輩方から教わったことをしっかり覚えて、いろいろな仕事ができるようになりたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

事業部 父野川事業所

初めて触る製材機械の修理。大変な時もありますが、一日一日を大切に積み重ねて仕事を覚え、皆さんに安全で、トラブルなく作業してもらいたいと思います。ご迷惑をかける事があるかもしれませんがよろしくお願いいたします。安全第一で頑張ります。

介

事業部 久万事業所

仕事場の人はとても優しく、楽しい方ばかりで、分からない事はすぐ教えてくれます。何の知識もなく飛び込んだ仕事だったので、本当にありがたいと感謝しています。こんなすばらしい環境で働けるので、いち早く仕事を覚えたいと思います。

活性化センター

先輩方の知識や仕事の仕方を隣で学ぶことができ、充実した毎日を送っています。たくさん迷惑をかけてしまっていますが、その分を取り返せるよう仕事に励んでいます。まだまだ未熟な自分ですが、一日も早く役に立つ人材になれるよう頑張ります。

木材市況(久万広域森林組合久万市場)

木材を取り巻く情勢は依然厳しい状態が続いておりましたが、最近の販売傾向といたしましては低質材が比較的安定した価格で取引されております。それに反して高質材(枝打ち材)の価格低下が著しく、一般材とあまり大差のない状態になってきているのが現状です。

そのような状況でも、久万地区は他の地区に比べて出材が良好で、買い方さんも増えております。

さらに価格の面でも、昨年と比較して平均単価で2,300円以上高く取り引きされております。

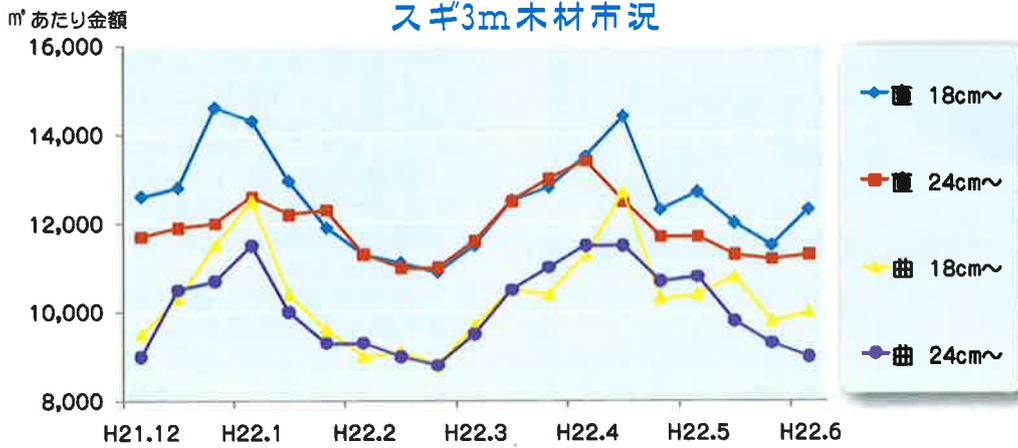
最後に今後の見通しですが、近年の住宅着工件数の減少に伴い製品需要が伸び悩んでいる点是否めませんが、他の地区の原木不足により、今後も当市場の買い方さんは増えると思われま

す。活性化プロジェクト事業拡大による出材量の増加は見込んでおりますが、林業家の皆さまも当市場への出荷をよろしくお願い申し上げます。

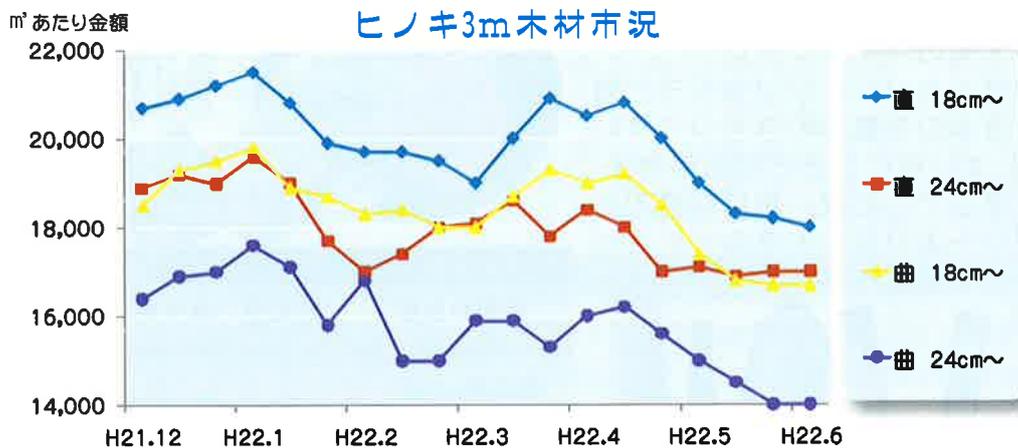


記念市のように

スギ3m木材市況

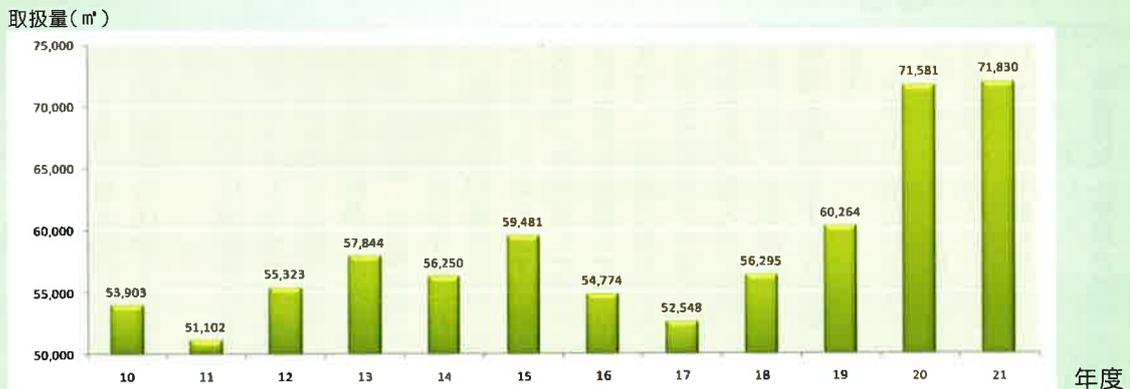


ヒノキ3m木材市況



市回数 786~804 (平成21年12月4日~平成22年6月25日)

原木取扱量推移・・・当市場は順調に取扱量を増やしています。



購買からのご案内

発売から半年・・・皆様にご好評いただいているしいたけ茶、
梅こんぶ茶、こんぶ茶、とうがらし梅昆布茶はいかがですか。

「ちょっと変わった贈り物はないかしら」と思っているあなたへ！

定番の乾しいたけとお茶をセットにしたお中元にピッタリなギフト商品をご用意いたしました。お茶はお好みで2つお選びいただけます。

今回はお茶の活用術として、しいたけ茶を使ったレシピをご紹介します。



しいたけ茶を使った簡単茶わん蒸しレシピ

□ 材料 (2人前)

- ・たまご 1個
- ・スティックしいたけ茶 1本
- ・水 120cc
- ・薄口醤油 小さじ4分の1
- ・みりん 小さじ2分の1

□ 作り方

- ① ボールにAを入れてよく混ぜ、たまご液をつくり、ていねいにこします。
- ② 器にお好みの具を入れ、たまご液をそっと流し入れてアルミホイルでフタをします。
- ③ 大きめの鍋に器の3分の1くらいの高さの水を入れ沸騰させます。
- ④ 沸騰したら弱火にし、器を入れフタをして7分蒸します。
- ⑤ 竹串で中央をさし透明な液が出たら、三つ葉を飾って完成です!!

・お好みの具 (しいたけ、かまぼこ、鶏肉、ほうれん草、銀杏等)

※乾しいたけを使う場合は、戻し汁を40cc・水を100ccにして下さい。

その他の購買品

枝打ち用に人気のパイプソー。
細い枝を難なくカット。ワンタッチで替刃に交換できるのも魅力のひとつですね。ただ・・・少し太い枝になると伐るのが大変でした。そこでこの度、新たな替刃としてパイプソーより目の大きな**剪定用替刃**を入荷いたしました!!

山仕事にはもちろん、果樹・園芸にも大活躍いたします。



商品名	内容	金額
携帯防虫器	防虫器・森林香赤函2巻入	945
森林香	30巻入	1,155
森林香(赤函)	30巻入	1,323
パイプソー	本体	987
パイプソー	本体(先細)	987
パイプソー替刃	1枚入り	252
剪定鋸替刃	5枚入り	1,155

消費税は含まれます。

あとがき

去る6月2日に通常総代会を開催し、総代の皆様には多数ご出席を賜り盛大に行われ、提案した付議事項は全て承認されました。

当組合は広域合併以来赤字経営が続きましたが、平成18年度から取り組んだ経営改革により黒字経営へ転換いたしました。

現在では、役員が一丸となつて、平成20年度に作成した「新たな中期経営計画」を忠実に実行しております。特に「月次管理」は徹底して行い、より良い経営を目指しております。また、この度ご紹介いたしました新たなスタッフ達を、未来の組合を担える人材に育てて参りますので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

今後、組合員の皆さまにはホームページと連動し情報の発信を続けて参りますので、温かいご支援をお願い申し上げます。

総務部長(経営企画室長)

西口 邦彦